

QUESTION

ライフサイエンス
いよいよ本格的に
始動

商品リニューアルを含め、**全体の展望**はいかがでしょうか？

絹糸の原料である繭の汚れを落とす
蚕繭分解液の開発に端を発する当社は
今、工業用薬剤のトップを走る化学の素
材メーカーです。1973年の家庭品から
の撤退を経て、BtoBビジネスに力を注
いできました。そうした中で着手した、ラ
イフサイエンス事業。2018年にグルー
プ化したバイオコクーン研究所が開発し
たカイコハナサナギタケ冬虫夏草が、そ
の柱の一つです。

当社の冬虫夏草からは新たな有用成
分「ナトリド®」が発見されており、人生
100年時代に、人々の健康寿命延伸へ
の貢献が期待されるものです。ただ、こ
れまではバイオコクーン研究所がつくっ
た商品を継続して販売するというスタ
イルでした。ここに、もっと、第一工業製
薬ならではの想いや思想を込めることは



ライフサイエンス事業を分かりやすく伝
えるためブランドブックを作成した。当
社のブランド認知にも使用する。

できないか。それが、カイコハナサナギ
タケ冬虫夏草の新ブランド「天虫花草®」
展開のスタートでした。

従来のカプセルタイプから飲みやす

い錠剤タイプに改良されたのを機に、
「天虫花草」というネーミングやロゴ、
ブランドカラーを決め、パッケージも
一新しました。「天虫花草」という名称
にはさまざまな意味が込められていま
す。「天」と「虫」を重ねて生まれる「蚕」
という符牒。「花」には、ミドルからの
人生を花々しく生きてほしいという願
い。さらに「天」=トップの意味から、こ
の市場でトップになる、この市場の天
を描いていこうという世界観も込めら
れています。

このように、およそ45年ぶりに本格
展開することになったBtoCビジネス。
そのためには「天虫花草」だけでなく、
第一工業製薬についてきちんと知らせ
るコーポレートブランディングの必要
性を痛感しました。

京都で
113年の歴史を持つ
化学メーカーが作る
健康食品

ANSWER

まず**ブランドイメージ**を育て、その**認知**を徹底していきます

おさえておきたかったのが、当社が
京都で113年続いている会社である
ということ。京都で100年というのはヒヨ
コですが、プライム企業として100年続
いている化学の会社というのは少ない。
もともとお香屋さんのベンチャーとし
て立ち上がり、京都の糸偏産業を化学
の技術で支えてきた会社が、ライフサ
イエンス分野へ挑戦しようとしている
のです。

トラディショナルなものをしっかり維
持しながら、少し新しいものにチャレ
ンジする。軸足をきちんと、昔の時間軸
に置くことができるのが、京都の会社
の素晴らしさだと思います。そうした会社
の「格」をパッケージデザインにも表しま
した。シンプルで、引き算の美学。そこに
商品の価値を感じてもらえるはずだ。



高原 英二
執行役員 ライフサイエンス事業統括部長

京都で活躍されている書家の川尾朋子
さんによるロゴも、同じ意図が込められ
ています。

「天虫花草」発売に先駆けて、京あめ、

クラフトコーヒー、チョコレートなど、京
都の会社や職人と組んだコラボ商品も
開発。京都で113年生きてきて、この先
100年200年生きていく会社として、京
都ブランドであることを意識したものづ
くりは必須です。同時に、サプリメントと
は違うアプローチも可能になります。

3月21日、24日の両日、満を持して
「天虫花草」のお披露目を開催しま
した。ここでは第一工業製薬の坂本、
第一工業製薬の山路という、「人」をし
っかり知っていただくことも目的の一つ。
それは、「天虫花草」という商品はもちろ
ん会社にとっても非常に重要なブラン
ディングになるからです。地元京都のゲ
ストをはじめメディアやプレスなどを招
き、今後の当社のBtoC戦略にもつな
がる会となりました。



■ 京都と人をつなぐ

国産シルクでつくった「繭の茶室」
でいただくのは桑茶や冬虫夏草
のお茶。蚕に関連した化学の技
術とともにスタートした会社の歴
史にもつながる。

■ キーマンとつながる

コーポレートブランディングをきち
んと確立したうえで、冬虫夏草の
ポジションを見つめ直して「天虫花
草」がブランドとなる。



ブランド
イメージ
の確立

「京都発」「京都らしさ」をキーワードにつなぎながら
第一工業製薬のブランディングを確立していきます。

■ 京都の職人とつながる

京あめ、クラフトコーヒー、チョコレート、お茶…。伝統を
大切にしながらも新しい、冬虫夏草のコラボ商品。



■ キックオフで社内もつなぐ

ライフサイエンス事業統括部へのお披露目会も開催。手づくり
で、時間と想いを共有できた、一番のイベントになった。

